

防災情報

問合先 危機管理課

ホームページ (<https://www.city.izumisano.lg.jp/kakuka/kyoudou/kikikanri/menu/bou/indey.html>)

災害ボランティア事前登録事業

泉佐野市社会福祉協議会では災害が起こった際に活動を希望するボランティアの事前登録と、登録者への定期的な研修・訓練を行います。また、研修や訓練を含め、定期的に下記の内容の協力依頼（案内）をしています。

- 市内の被災者が少数で災害ボランティアセンター（以下、災害VC）を開設せずに被災者支援を行う場合
- 被災地の災害VCへボランティアバス（ワゴン）を運行する場合
- 泉佐野市社会福祉協議会が災害VCを開設するに当たり、センター運営への人的支援が必要な場合
- 上記を想定した訓練を行う場合

※災害VCが設置された場合は、Facebookの公式アカウント「泉佐野市社協災害ボランティアセンター」で情報を公開しています。



◀災害ボランティア活動の様子

災害ボランティアセンター

泉佐野市では、泉佐野市社会福祉協議会と「大規模災害発生時におけるボランティアセンターの設置・運営に関する覚書」を締結しています。泉佐野市社会福祉協議会では、この覚書に基づき大規模災害発生時には、災害ボランティアセンター運営の中心的役割を担うこととなり、毎年、地域福祉に関係する団体の参加・協力を得て設置運営訓練を行っています。

1月17日は防災とボランティアの日、

1月15日～21日は防災とボランティア週間です

平成7年1月17日に発生した阪神・淡路大震災において、各種のボランティア活動および住民の自発的な防災活動の重要性が広く認識されたことから、毎年1月17日が「防災とボランティアの日」、1月15日～21日が「防災とボランティア週間」にそれぞれ指定されています。この機会に、各家庭の災害対策を、改めて確認してみよう。

問合先 泉佐野市社会福祉協議会ボランティアセンター（☎464・2259 FAX462・5400）

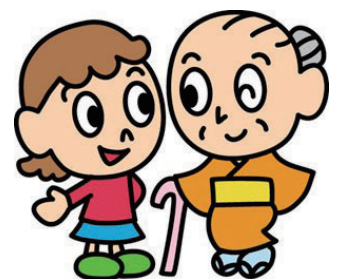
地域の絆づくり登録制度

「避難行動要支援者登録制度」をご存知ですか？

地域の絆づくり登録制度とは、障害や高齢などで災害時に自力で避難するのが困難な人にあらかじめ名簿登録をしていただき、協定を締結した自主防災組織などの、地域の支援団体にその情報を提供することにより、災害時の避難支援活動や安否確認、また平常時の見守りなどに役立つ制度です。

対象となる人には登録用紙などを送付しますので、必ず登録の有無を回答してください。また、登録用紙などが届いていない人でも、災害時に支援を要する人は登録することができますので問い合わせてください。

問合先 危機管理課、地域共生推進課



忘れずに備えよう！赤ちゃんのための防災



赤ちゃんが生まれてから災害への備えを見直しましたか？それぞれのシーンごとに赤ちゃんならではの備えを確認し、ローリングストックを活用しながら、もしもの時に慌てないように準備しましょう。また、この機会に避難場所や連絡方法なども改めて家族で話し合しましょう。

問合せ先 子育て支援課、危機管理課

覚えておきたい5つのシーン

シーン④ 長期生活

長期の避難が必要な場合に困るのは赤ちゃんを寝かせておくスペースを確保すること。周りを歩く人たちに気付いてもらい、土埃から赤ちゃんを守るためにテントのようなものがあると良いでしょう。

シーン② 授乳・食事

災害に対するストックから母乳が出にくくなってしまふことや避難所に十分な離乳食が用意されていない場合に備えて、食べ慣れたものをいつもより少し多くおうちに用意しておきましょう。

シーン① 避難所への移動

もしものときの避難で重要なことは両手が自由に使える状態であることです。赤ちゃんを抱えて家を飛び出したけれど、抱っこで手が使えず障害物を避けられないということにならないように、おうちでも手が届くところに着脱しやすい抱っこひもを用意しておきましょう。

シーン⑤ リラックス

大人と同じく子どもたちも特殊な環境にストレスを感じるものです。少しでも気持ちをしなやかにするために、よく遊ぶおもちゃ・おしゃぶり、お菓子などを備えの中に加えておく効果的です。

シーン③ トイレ・衛生

衛生面の観点からおむつの替えやおしりふき、除菌シートなどは多く備えておきましょう。同時にママは生理用品や母乳パッドの備えもしておきましょう。

ローリングストックとは...

ローリングストックとは、食料品や日用品を少し多めに買って置き、賞味期限の近いものなど古いものから順番に消費していくことで、常に備蓄できている状態を維持していくという方法です。

ローリングストックの考え方のもと、「ミルク・離乳食、紙おむつ、おしりふき、除菌シート、生理用品・母乳パッド」などのアイテムについて数量の見直しを行うことも防災の備えとして非常に有効です！

赤ちゃんのための防災グッズ チェックリスト

避難所への移動 <input type="checkbox"/> 母子手帳のコピー <input type="checkbox"/> 抱っこひも <input type="checkbox"/> ホイッスル <input type="checkbox"/> 子どもの靴	トイレ・衛生 <input type="checkbox"/> 紙おむつ <input type="checkbox"/> おしりふき <input type="checkbox"/> 除菌シート <input type="checkbox"/> 生理用品・母乳パッド	リラックス <input type="checkbox"/> おもちゃ・おしゃぶり <input type="checkbox"/> お菓子・おやつ <input type="checkbox"/> 家族の写真
授乳・食事 <input type="checkbox"/> ミルク・離乳食 <input type="checkbox"/> 調乳用具・洗浄消毒剤 <input type="checkbox"/> 食具(お皿・スプーン)	長期生活 <input type="checkbox"/> 赤ちゃん用の寝具 <input type="checkbox"/> 着替え・下着 <input type="checkbox"/> 携帯できるライト	 市ハザードマップ QRコード

泉佐野市の赤ちゃんをもつ保護者のみなさんへ

備えをしておくことは、地震や水害などの自然災害が起きた時だけでなく、急な体調不良で買物に行けなくなってしまったなどの、ちょっとした「もしも」にも役立つことがあります。

今回、紹介したことを、いきなりすべてを備えることは難しくとも、今日できることから始めてみてはいかがでしょうか。市はピジョン株式会社の掲げる「あかちゃんとそなえの輪推進プロジェクト」に賛同し防災分野における赤ちゃんの備えを推進していきます。

